

事業報告書（生涯学習局 登録理学療法士養成部）

事業名称	第3回症例検討会（内部障害系）	開催日	令和6年9月20日（金）
開催場所	オンライン開催	開催時間	19:00～21:30
参加者	症例① 県士会員26名/県外参加17名 計43名 症例② 県士会員21名/県外参加16名 計37名 症例③ 県士会員19名/県外参加14名 計33名 症例④ 県士会員16名/県外参加12名 計28名		

【活動内容】

後期研修者対象の症例検討会をWEB開催にて実施致しました。全国から43名の会員が参加し、4症例の内部障害系症例検討を行いました。4症例の検討を行うというタイトなスケジュールでしたが、座長/ファシリテーターの進行の下、症例を通して日々の臨床を振り返る、また理学療法の多様性を知る機会となりました。

座長：伊藤恭兵先生（聖隷三方原病院）

ファシリテーター：老川大介先生（菊川市立総合病院）、山口勝也先生（公立森町病院）、鈴木徹也先生（浜松市リハビリテーション病院）、江川徹先生（浜松南病院）

症例①『細菌性肺炎により心不全増悪を併発した重症大動脈弁狭窄症患者に対し、理学療法介入がHADの回避に繋がった一症例』
名岡野圭祐先生（聖隷浜松病院）

症例②『慢性GVHDによる5回の入退院を経験したが、継続したリハビリテーション介入より運動耐用能を改善した一症例』
武田 夏季先生（浜松医科大学医学部附属病院）

症例③『心筋梗塞患者の運動処方について～CPXを用いて～』
片山明里先生（中東遠総合医療センター）

症例④『若年の心不全患者に対して患者教育を行った一症例～CPXによる評価を用いて～』
松本幸志郎先生（中東遠総合医療センター）

【活動風景】

